

環境教育

～未来社会を担う私たちの考え～

甲南女子高校 1年 一宮梨花子

姫路東高校 2年 後藤望笑

国際高校 2年 高田奈歩

兵庫高校 2年 松江杏

【目次】

1. 高校生の現状の環境意識について

- ・高校生対象にアンケート調査
- ・私たちのプロジェクト参加前と参加後の意識の変化

2. 高校での環境活動の実例紹介

- ・環境委員会の設置
- ・Jクレジット制度の導入

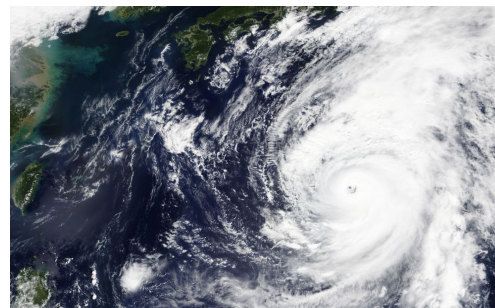
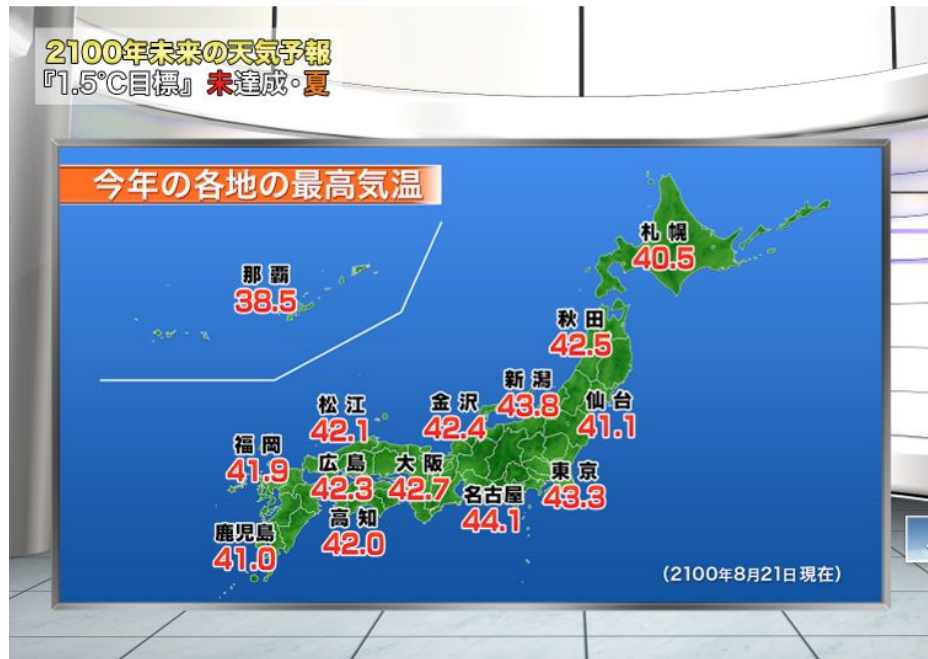
3. 私たちの提案

～教育現場での環境対策をもっと身近に楽しく～

4. 最後に



気温上昇



異常気象

海面上昇



干ばつ

このプロジェクトによる環境意識の変化

対象:参加者

- ・参加前も環境問題や対策に興味があったが、詳しく知る機会がなく、このプロジェクトで兵庫県の取り組みや課題について具体的に知った。
- ・漠然としていた温暖化のイメージが具体的に became.
- ・環境問題に対しての危機感や行動を起こす意欲、環境に対する意識が高まった。

プロジェクトなどの
知る機会がないと
環境意識は変わらない！

アンケート調査

アンケート項目

- 1 環境問題(地球温暖化、ゴミ問題、森林破壊など)について関心がありますか
- 2 地球温暖化がCO₂が原因だと知っていますか
- 3 CO₂削減のために個人レベルで地球温暖化取り組んでいますか？
- 4 CO₂削減のために学校レベルで実際に取り組んでいますか？
- 5 3番4番で3. 2. 1. と答えた人はなぜ取り組めていないと思いますか？

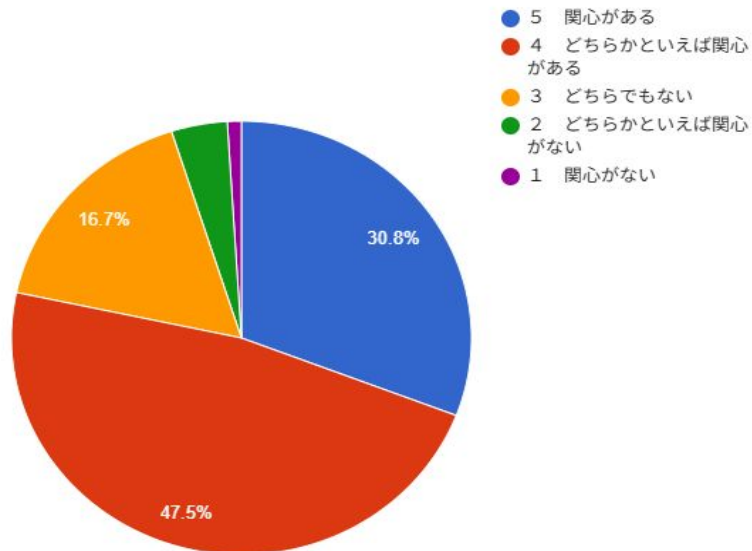
何をしたらいいかがわからない、学校で学ぶ機会がない、興味がない、その他

- 6 地球温暖化対策として何ができるか知っていますか
- 7 現状の意識を改善するために何があったら取り組みたいと思いますか

もっと環境についての授業を増やす、環境について知るプロジェクトを開催、その他

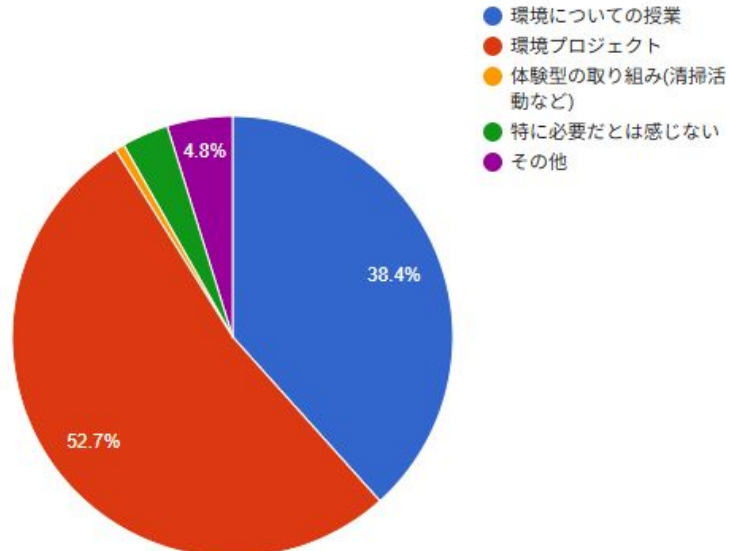
アンケート結果

環境問題への関心



環境問題への関心

現状の意識を改善するために必要だと思う取り組み

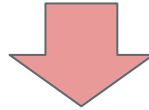


現状の意識を改善するために必要だと思う取り組み

環境問題に取り組みたい意欲はあるものの、
実際に行動に移せていないのが現状



将来を担っていく高校生が環境問題に対する危機感をもつ必要がある

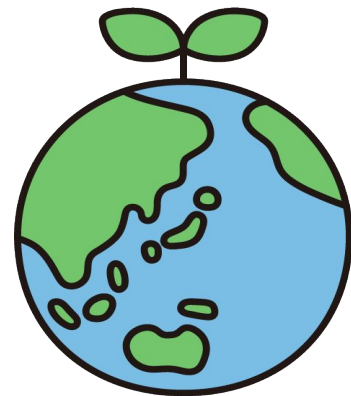
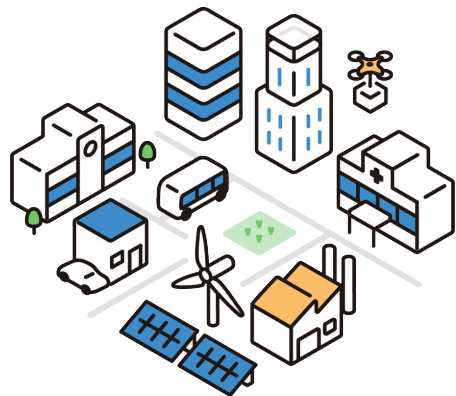


意識を高め行動につながる環境教育



高校での環境活動の実例1

環境委員会の設置



京都府立北稜高校 環境委員会

【環境委員会（1年生）】グリーンカーテンづくり

////////////////////////////////////

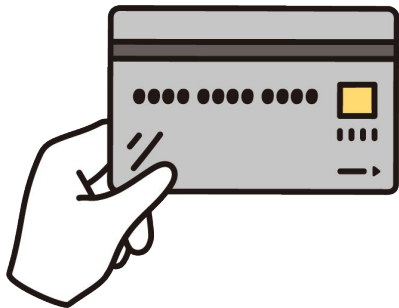
2025年06月06日



1年生環境委員の生徒らが、ゴーヤの苗を植えグリーンカーテンづくりを開始しました。今年は6クラスが3チームに分かれて別々の種類の苗を植え、栽培方法も各チームで工夫しています。どのチームも立派なゴーヤが育つように応援してください！

高校での環境活動の実例 2

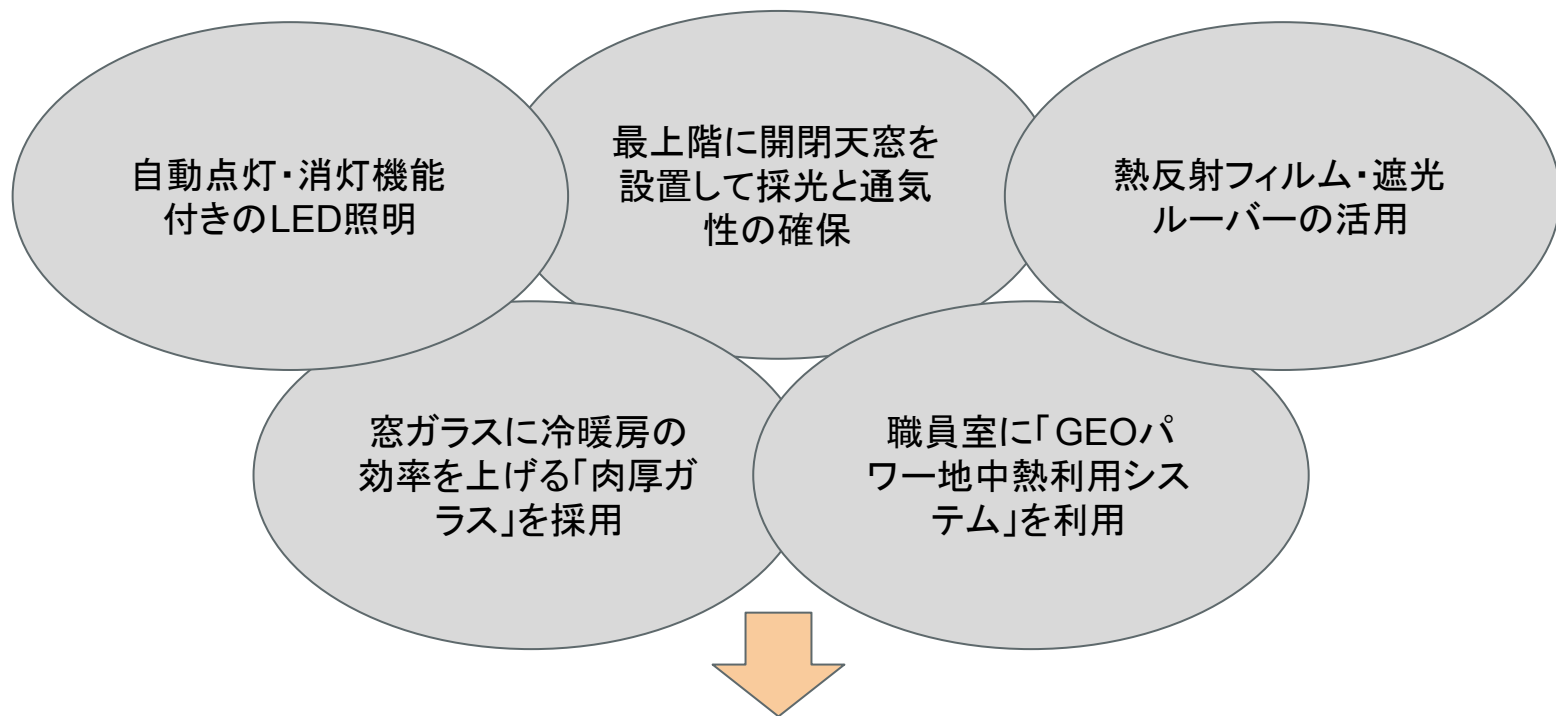
J-クレジット制度



J-クレジットって？



全排出量をカーボン・オフした鹿児島環境・情報専門学校



それでも発生が避けられなかったCO₂量を学生が算出し、学校が**J-クレジット**を購入

私たちの提案



① 努力の見える化

- ・「日時」「気温」「エネルギー使用量」を教室に掲示。
- ・先月との比較、日平均などを出し廊下に掲載！
- ・取り組みのモチベup↑
- ・発電した量と排出した量のギャップが見える化

(参考)県庁



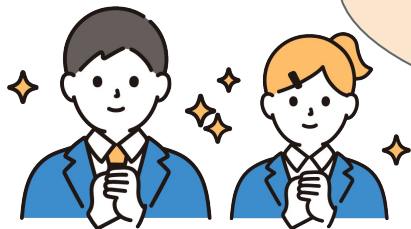
②Jクレジットを学校で売る

自分たちの努力が目に見えてわかりやすい

地域に貢献できる

再エネを始動することで安定収入源になる

自分たちがCO₂を減らした分だけ
お金が返ってくるので達成感UP！！



③月1開催！！〇〇高校環境会議

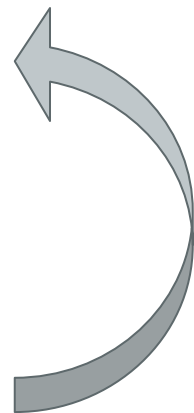
定期的な環境会議！



会議で決めた目標・内容を生徒全員に共有



環境委員会がリーダーとなって全員で取り組む！！



反省・改善



④SDGs偏差値



各学校のSDGs、環境対策への取り組み度合いを見える化し、
偏差値として示す

評価の指標 エネルギー使用量、環境対策への取り組みの実績
学校外の環境活動に参加した生徒の数

評価方法 上記の各項目を評価し偏差値をつける

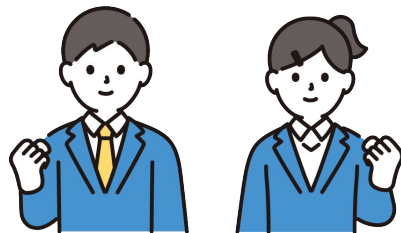
メリット 行動意欲が高まる、学校自体の価値が上がる
(先進校と名乗れる)

最後に

これからの時代を作るのは私たちの世代

それなのに今地球で起こっている環境問題について、知らないことがたくさんある。未来社会を担う私たちが環境問題と向き合うことは、持続可能な社会をつくることにつながる。

まず、私たち高校生が意識を高め、行動する。そして、他の世代にもその意識を広めて、環境と向き合う社会を目指していきたい。



参考文献

●青稜中学校・高等学校 SDGs部

<https://www.seiryo-js.ed.jp/sdgs>

●京都府立北稜高校 環境委員会

<https://www.kyoto-be.ne.jp/hokuryou-hs/mt/learning/environme>

●鹿児島環境・情報専門学校

<https://www.kankyo-joho.ac.jp/>

●経済産業省 <https://www.meti.go.jp/>

●環境省 <https://www.env.go.jp/>



ご清聴ありがとうございました